

節水にご協力を！



川魚も水不足の新野川（谷戸橋付近）

制限給水実施は八年ぶり

今年の異常渇水は、都民の水道水源地の四分の三を占める利根川上流の六つのダム周辺への降雪と降雨が平年の二分の一と少なかったことが大きく影響しています。都では六月二十二日から一〇時の夜間制限給水を午後十時から午前六時まで行うとともに、広く都民に節水を呼びかけてきました。しかし、その後も水源地への降雨が少なく七月四日から一五時の制限給水を午後十時から午前六時、午後一時から午後五時までの合計十二時間にわたって行いました。市では、市民プールの開場延期、小・中学校プールの使用中止など公共施設の節水対策を行うとともに市民の皆さんに一層の節水をお願いします。

市では、六月二十二日からの第二次制限給水の実施により、一日百一立方メートル以上水を使用する

多量使用者や公衆浴場、ガソリンスタンド、タクシー・ハイヤー会社へ節水の協力依頼を行っ

てきました。同時に市役所をはじめ公共施設の蛇口調節バルブを絞って水の出を調節しています。また、市役所前市民ひろばの循環式流水（地下水利用）も節水意識を高めるため水の流れを止めています。

また、七月四日からの第二次制限給水の実施を前に、市民プールの開場を延期するとともに小・中学校、市立保育園のプールの使用中止、福祉会館内の老人浴室の利用日の削減などを決定しました。

市民の皆さんには、広報こまえをはじめ、各種ポスターやチラシなど印刷物による節水協力依頼、市庁舎に節水懸垂幕の掲示、広報車・防災行政無線により節水を呼びかけています。

水は限りある大切な資源です。節水と効率的な使用方法を生活の中に取り入れる工夫をお願いします。

漏水の発見は

かんたん

漏水は、はじめのうちは、わずかなものですが漏水部分は日に大きくなり、気がつかずにいると、大切な水を無駄にしてしまうばかりでなく、料金にはねかえり思わぬ高額なものにな

ります。

漏水の見つけ方

◇水道メーターで発見できる

蛇口を全部締めて一トント指針（赤または緑）を見てください。

針が動いていれば漏水です。

◇チェックポイント

蛇口……ポタポタと締まりにくい時は、無理をしないですぐ修理をしてください。蛇口の漏水やガタガタする音は、コマがすり減ったためにおこります。

コマの取り替えはどなたでも簡単にできます。

なお、コマを取り替えても水が止まらない場合や、トイレ、洗面所の水漏れなど漏水に気づいた時は、速やかに市内にある都の指定水道工事店で修繕（有料）してください。都の指定水

道工事店は市内に十か所あります。詳細は水道課（四八〇一〇二〇一）へ。

制限給水

七月四日から第二次制限給水が行われました。東京都水道局では、昭和三十九年、東京オリンピックの年に五〇％の制限を行ったことがあります。その後今回同様の二五％制限給水は

昭和四十七年に行われて以来一度も経験していません。都水道局によると、節水による使用量の抑制が最も効果があるとのこと。狛江市においても、第一次制限給水開始の六月二十二日以降の一日の配水量が皆さんのご協力により一日平均二千立方メートル（総使用量の約一割）近く減っています。今後とも一層のご協力をお願いします。

今までの制限給水

発生年	制限給水期間	日数	制限率 (最高値)
昭和39年	7月10日～10月1日	84	50%
昭和47年	6月24日～7月15日	22	15
昭和48年	8月20日～9月6日	18	10
昭和53年	8月11日～10月6日	57	10
昭和54年	7月9日～8月18日	41	10
昭和62年	6月22日～		15 (7月7日現在)

制限率は期間中の最高値です。

お知らせ

市民プールの開場延期

…小・中学校プールも中止…

開場延期

広報こまえ七月一日号でお知らせしました狛江市民プールの開場は水事情の悪化により、当分の間延期させていただきます。また、市民プール開場延期に伴いご案内済みの「女性のための水泳教室」は中止します。

小・中学校および市立保育園のプールも水深の調節やシャワーなどの節水指導をしながら使用を行っていましたが、七月四日の一五時制限給水に伴いプール使用を中止しています。

また、休館日を除き毎日使用していましたが福祉会館の老人浴室の利用も七月四日から当分の

間、開設日を週三とし、水、金、日曜日の正午から午後四時までの使用とします。

市民の皆さんには、ご不便をおかけしますが、ご理解のうえご了承ください。

なお、学校プールの使用中止に伴い、社会教育関係団体への学校プール開放も当分の間、延期しますが、プール開放のための指導者・監督者講習会は当初の予定とおり七月十一日に開催します。

市民プールについてのお問い合わせは市民総合体育館（四三〇一―一四一）へ。

＝水は上手に使いましょう＝

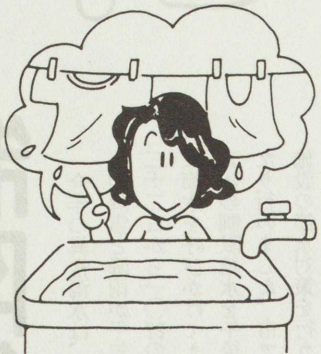
小さな工夫で 大きな節水

東京都の水事情が、水不足のため深刻な事態を迎えていることは、皆さんもうご存知のことでしょう。水は有限な資源です。限られた資源として有効に使用するためには、いつも水を大切に使うという節水に対する認識が必要です。私たち自身の水道です。私たち一人ひとりが水道使用者として今一層の自主的節水に努め、この水不足の危機を一緒に乗り越えましょう。

私たちの日常生活をささえている貴重な水。東京都における昭和六十年年度の水道水使用量の用途別内訳をみると、家庭用水が六四割を占め、次いで事務所・学校・店などの用水が三割、残りの三割は工場用水として使っています。私たちの家庭で合理的な水の使用に努めることが、大きな節水効果をもたらすこととなります。

お風呂の水をもう一度

残り湯は、使用状態によって異なりますが、一般家庭では、約180ℓの量があります。この半分を洗濯、掃除、散水などに利用すれば90ℓも節水できます。



蛇口はこまめに閉め、水は容器にくんで

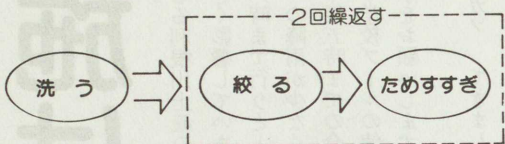
たとえば、歯をみがく時に流しっぱなしでは30秒で約6ℓの水を使います。ところが、コップに汲んでみかぐと3杯(約0.6ℓ)程度の水ですみ、5ℓも節水できます。



洗濯はためすぎで

洗濯は、すすぎ方が節水のポイントです。そこで、おすすめしたいのが、ためすぎの洗濯法です。1回で約55ℓの節水になります。

ためすぎの工程



※ためすぎ
水槽に水を張り、水を止めてすすぐ方法

洗車は水をバケツにくんで

車を1台洗うのに、ホースからの流し洗いでは約240ℓの水を使いますが、バケツに汲んで洗えば約5杯(30ℓ)ですみ、210ℓも節水できます。



いま狛江の水道は……

年間配水量766万トン
約10パーセントは地下水

昭和三十九年に町営水道事業として給水開始された狛江市の水道は、昭和四十四年までは、市内八か所の深井戸から汲み上げられる地下水でまかなわれており、狛江の水は「おいしい」といわれていました。

しかし、急激な人口増加による水需要の増加は、深井戸全部のフル運転によっても必要給水量の確保が困難なものとするとともに地盤沈下等の心配から、昭和四十五年五月から東京都の水を受水することになりました。また、昭和四十八年十一月か

今年は八年ぶりの制限給水となり、水のありがたさが日に日に肌で感じられる毎日ですが、皆さんは狛江の水がどのような「作られ」ているかご存じですか。

昭和六十一年度の狛江市の年間総配水量は七百六十六万立方メートル、そのうち約二・四割が深井戸からの地下水、残り八八・六割の六百七十九万立方メートルが利根川上流、群馬県内の六つのダムから放流された水と一部多摩川水系の水とでまかなわれています。巨額の費用が必要なダム、えん

では、私たちの家庭の中では水はどのような使われ方をしているのでしょうか。

家庭用水の半分は、私たちの台所での炊事と洗濯に使われます。ともに約二五割。次いでトイレとお風呂に約二〇割ずつ使われています。

炊事に使う水の量が意外と多いのにお気づきですか。流しっぱなしでは、一分間に約十二リットルの水を使うことになるそうです。このように身の周りの水の使い方を一つひとつチェックしてみてください。

一般的に、節水とは「水の使用量を使用目的を達し得る最小の使用量に近づけるために節約すること」をいいます。

私たちの日常生活にもう一度目を向け、必要最少限度の合理的な水の使用を心がけることが大切です。節水は、最も身近な水不足対策ともいえるのです。節水方法の一例をご紹介します。

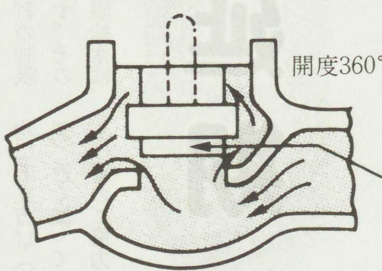
節水コマは無料配布

東京都では、都型節水コマを昭和四十八年に開発し、一般家庭に無料で配布しています。

狛江市でも、水道課事務所(和泉本町四一六一)・市役所会計課窓口で差し上げています。

このコマは、一般用蛇口(呼び径十三ミリ)のどれにでも取り付けられることができ、使用個所が洗面、手洗い、台所のように流し洗いをするところでは、特に節水の効果を上げることができ

節水型水栓コマ



このコマを使うと、今まで無駄に流されていた水が、意識しないで節約できます。

この部分が従来より大きくなっています。